

「音」と「本」の出会い

10月1日、中央図書館で「夜の図書館」が開催されました。いつもは静かな図書館ですが、この日は特別。館内で「音読会」と「ミニコンサート」が行われ、参加者はいつもの「本」に加えて、「音」も一緒に楽しんでいました。



明かりをともし、参加者を迎える当日の図書館

音読会は、(社)日本朗読検定協会プロフェッサーの上田あゆみさんを講師に迎え、参加者も一緒に音読を行いました。普段からよく本を音読するという大塚純子さん・伊織くん親子と竹谷歩珠さん(左下写真・中福)は「声に出して本を読むと元気が出る」「人物の気持ちが伝わってきたり、なりきったりすることができる」と話してくれました。



左手前から大塚純子さん、伊織くん、竹谷歩珠さん

一方、東邦音楽大学からマリンバ & Percussion Duo "Bitte" を招いて行われたミニコンサート。午後8時が近くなり、いつも以上に静けさを増した雰囲気の中で始まりました。昨年に引き続き観賞した塚元千賀さん(上野田町)は「いつもは静かな図書館で、本棚を背景に行われる演奏はとてもすてきでした」と笑顔で話してくれました。



当日は夜や音に関する本の展示・貸し出しも



音読の魅力を伝える上田あゆみさん



ミニコンサートを行う"Bitte"の2人

ひとまち

ふおとニュース

ひとまち

女子栄養大学の学生が料理指導

女子栄養大学と南公民館・福原公民館の連携事業「料理を楽しみたい男性のための料理教室」が、南公民館で10月5日と7日に開催されました。レシピは、福原産野菜を使用した、ピザ2種類・さつまいものポタージュ・エビとアボガドのマリネ・ティラミスの4品。「ポタージュやティラミスは、普段作らないので新鮮でした」と話すのは、7日に参加した福田勤さん(左下写真左・元町一丁目)。普段から料理をする方にとっても、専門的な知識に触れる機会は貴重だったようです。

今回先生を務めたのは、ゼミで料理教室運営をテーマとしている女子栄養大学の4年生7人。高橋奈々未さん(右写真左)は「今回は教える立場でしたが、人生の先輩に教えてもらうこともすごく多かった。社会に出てもらっていききたいです」と充実した表情でした。「食や料理に関する話題は、性別・世代に関係なく楽しめます」と高橋さん。その言葉のとおり、教室は和気あいあいとした雰囲気の中で包まれていました。参加者にとっても、女子栄養大学の学生にとっても、実りのあるものとなったようです。



料理教室全体の様子



完成した料理



最後はみんなで「乾杯!」料理を食べた皆さんからは「おいしい」の声が



料理指導の様子



7日に先生を務めた女子栄養大学の学生